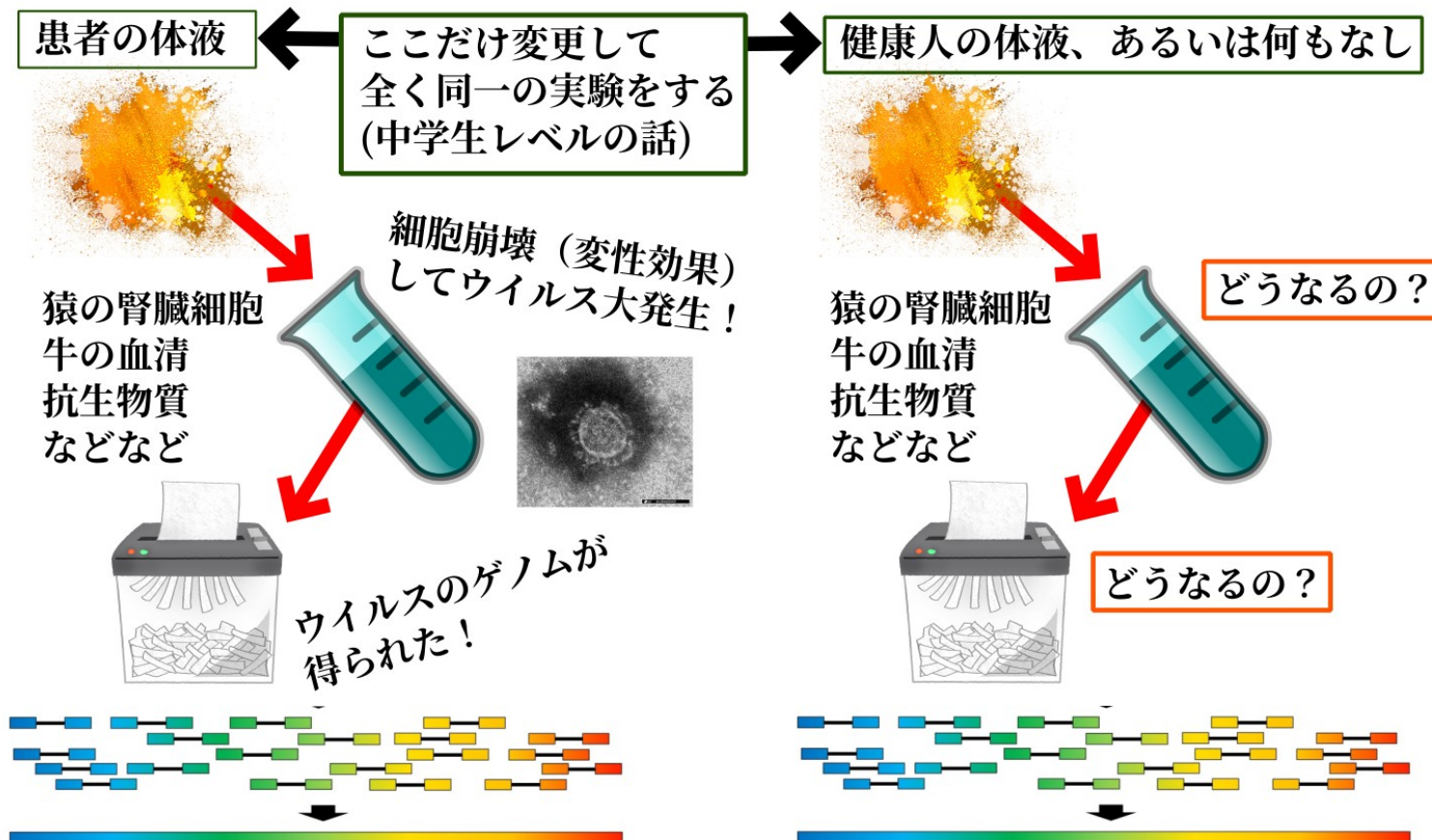




「ウイルス学はニセ科学」 初級 2

ウイルス学は対照実験ができない。つまり、 科学ではないことを前回理解してもらいました

ニセ科学「ウイルス学」詐欺の真髄シリーズ ウソがばれるので
「ウイルス学」では、対照実験は禁止！



- 病人の体液 vs 健康人の体液(あるいは何もなし)の比較対照はできません。

対照実験ができない理由は、 この手順自体がインチキだからです。

患者の体液



患者の体液ではウイルス量が少ないので
抗生物質
サルの腎臓細胞
牛の血清
などと混ぜてウイルスを増殖する



ウイルスが増えたので
電子顕微鏡写真が撮れた！

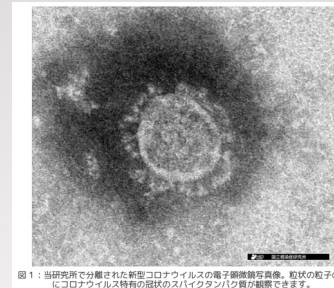
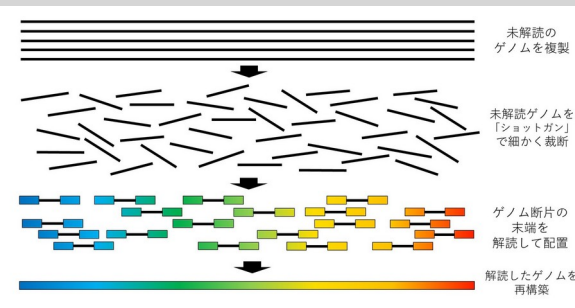
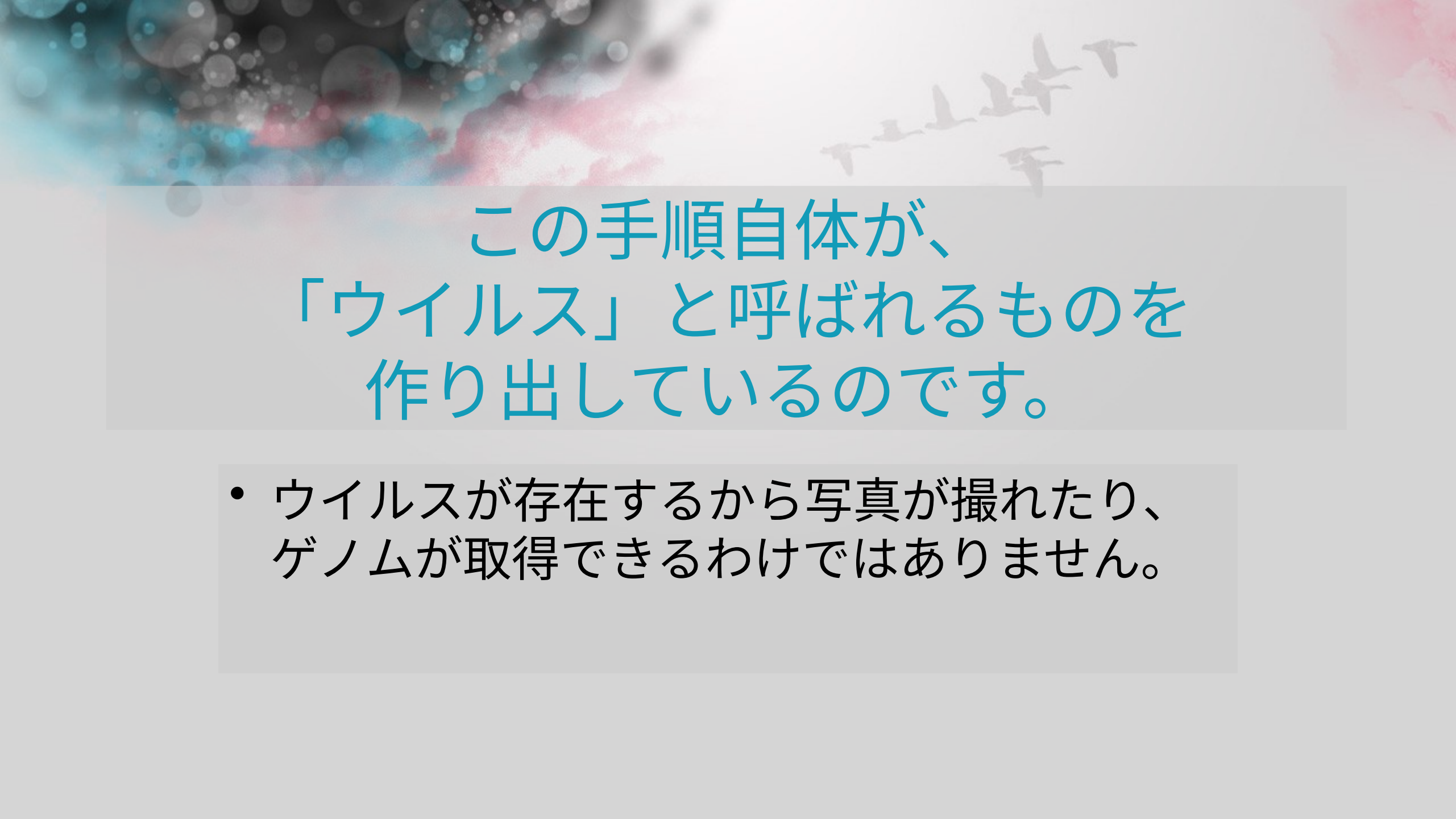


図1：当研究所で分離された新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真。粒状の粒子の上にコロナウイルス特有の冠状のスパイクタンパク質が観察できます。

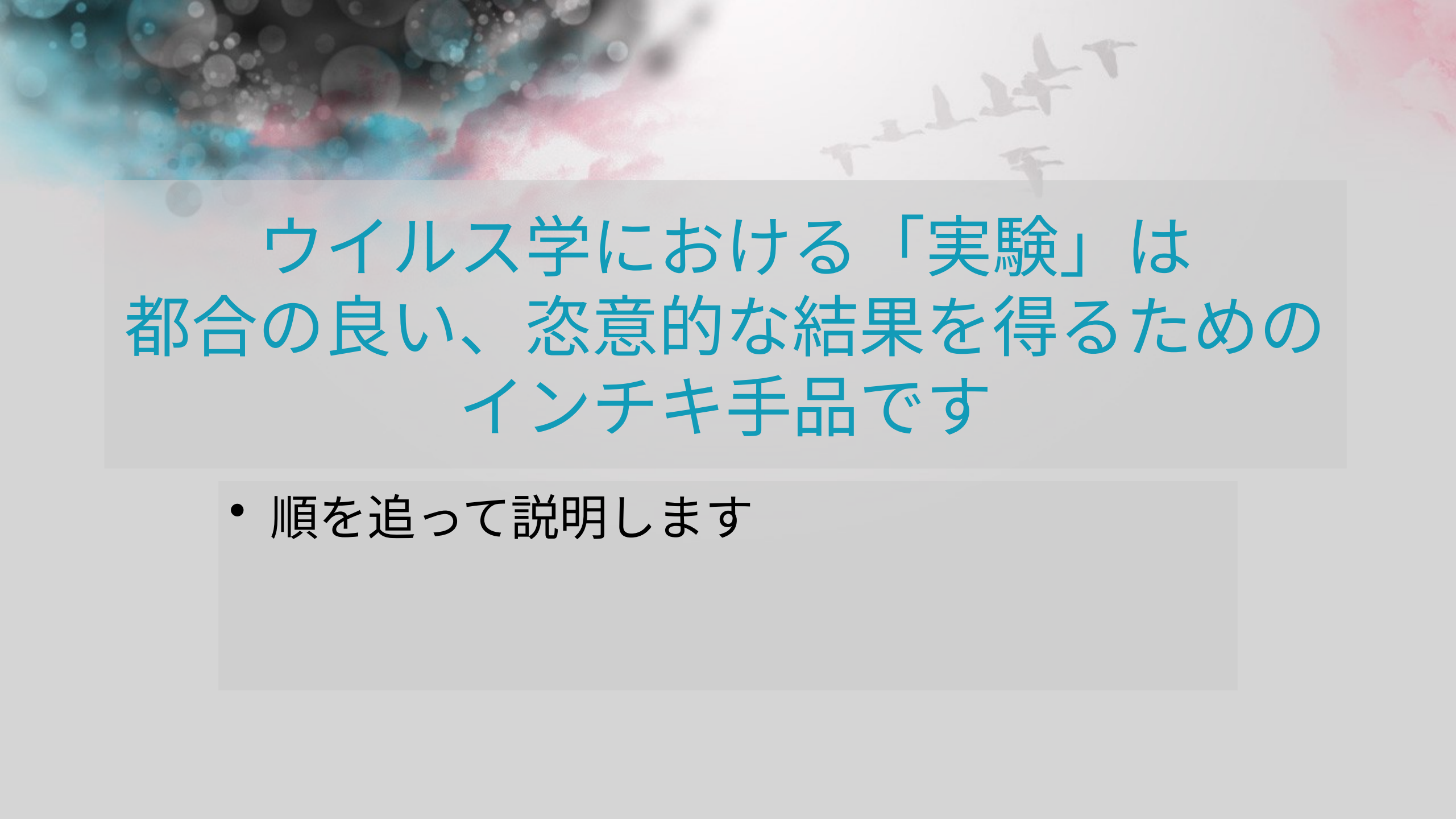
ウイルスが増えたので
遺伝子配列が得られた！



The background features a soft-focus bokeh effect with blue, teal, and pinkish-red circular light spots. In the upper right corner, a flock of birds is depicted in flight, moving towards the right.

この手順自体が、
「ウイルス」と呼ばれるものを
作り出しているのです。

- ウイルスが存在するから写真が撮れたり、ゲノムが取得できるわけではありません。

The background features a soft-focus bokeh effect with circular light spots in shades of teal, blue, and pink. In the upper right corner, a flock of birds is depicted in flight, moving towards the right. The text is centered within a semi-transparent grey rectangular box.

ウイルス学における「実験」は
都合の良い、恣意的な結果を得るための
インチキ手品です

- 順を追って説明します

人間の体液から直接「ウイルス」を得たことは、人類史上一度もない



- 「人間のくしゃみには2億のウイルスが含まれ、他者に感染させる」と言われるのに
- ウイルス学者は「ウイルス量が少なすぎて、ウイルスの姿は見つからない」と言う。



「だから、ウイルスを培養して増やす必要がある」と言う

患者の体液



抗生物質
サルの腎臓細胞
牛の血清
などと混ぜる

- どういうわけか、最適な培地のはずの人間の肺細胞ではなく、猿の腎臓細胞を使う。それも、染色体異常があり、崩壊しやすい「ベロ細胞」と呼ばれるもの
- すると、「ウイルスの働きによって細胞崩壊し（細胞変性効果と呼ばれる）、ウイルスが大増殖する」と言う。

これがウイルス学における「分離」

- この単なる培養作業を、一体どういうわけかウイルス学では「分離」と呼ぶ。
- **辞書と全く異なる定義に勝手に変更しているのには、深い理由がある。**
- 辞書の意味の「分離」をしたことは人類史上一度もない。つまり、「ウイルス」だけを取り出したことはない。



国立感染研も認めている

新型コロナウイルス：国立感染症研究所が開発した細胞で分離に成功

印刷

PUBLISHED: 2020年1月31日

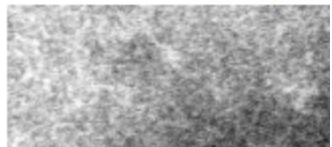
参照数: 341752

国立感染症研究所ウイルス第三部で、新型コロナウイルスの分離に成功しました(図1)。使用した細胞はVeroE6/TMPRSS2細胞（TMPRSS2というプロテアーゼを発現している）です。臨床検体を接種後、細胞の形状変化を観察し、多核巨細胞の出現を捉えました。

細胞上清中のウイルスゲノムを抽出して、ほぼ全長のウイルスゲノムの配列を確定しました。これは、**最初に発表**した。

分離したウイルスを用いて、ウイルス薬・ワクチンなどに役立てるため、ウイルスと

以下の写真は、「**感染症**



2020/1/31 国立感染研記者会見 所長脇田隆字

新型コロナウイルスの分離をした

細胞からウイルスだけを取り出したということか？

ウイルスだけを純粋なものにしていくのは、別の様々な手法をとる
「分離」というのは、細胞の中で増殖しているということか？

「分離」は「ウイルス学的な用語」で、培養細胞で増やしていく作業を「分離」と呼んでいる。

- 国立感染研の発表と記者会見内容～
分離と言いながら、分離などしていないことを認めている。

ともあれ、ごちゃごちゃの混合物中の 「ウイルスの写真」を撮影

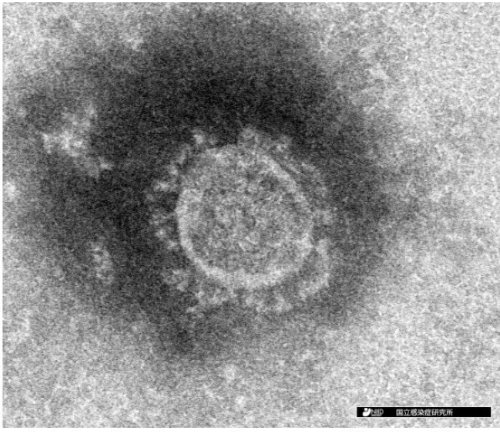


図1：当研究所で分離された新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真像。粒状の粒子の上にコロナウイルス特有の冠状のスパイクタンパク質が観察できます。

- 「ウイルスの写真」を撮影するが、この物体が目的の「ウイルス」と確認されたことは人類史上一度もない。
- 混合物の中の「そういった見かけ」の適当なものを撮影しているだけ。
- 真の意味での分離は一度もされておらず、この「物体」の病原性を確認したこともない。したがって、目的のウイルスであると言えるはずもない。

次に、ウイルスのゲノムを取得

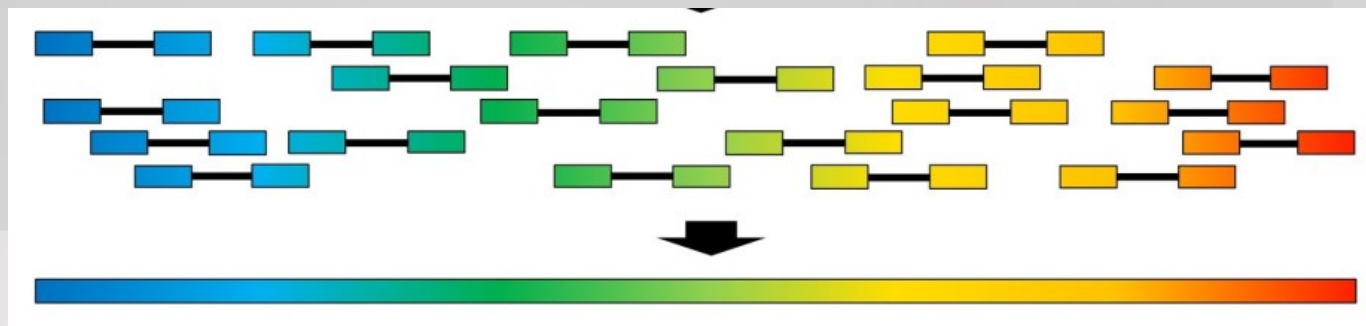


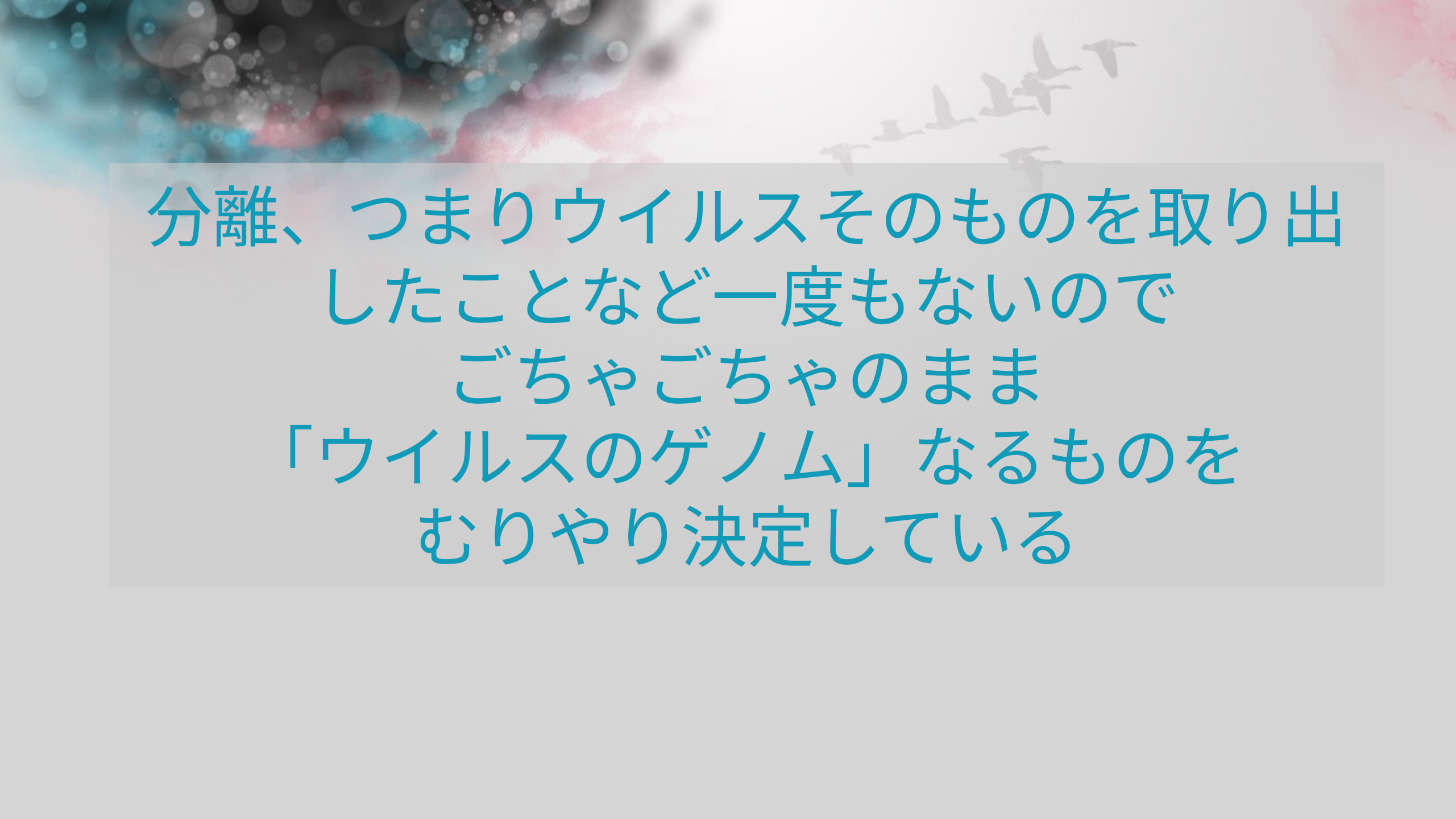
ごちゃごちゃの中のがこれがウイルスのはず! 分離などできてないけど

ゴミの山全部をシュレッダーにかけ、バラバラの断片にする



適当に組み合わせて数千万通りの中から、以前の論文にあったゲノムに似たものを選ぶ



The background features a soft-focus bokeh effect with circular light spots in shades of teal, blue, and pink. In the upper right corner, a series of small, dark silhouettes of birds are shown in flight, trailing off towards the right edge.

分離、つまりウイルスそのものを取り出
したことなく一度もないので
ごちゃごちゃのまま
「ウイルスのゲノム」なるものを
むりやり決定している

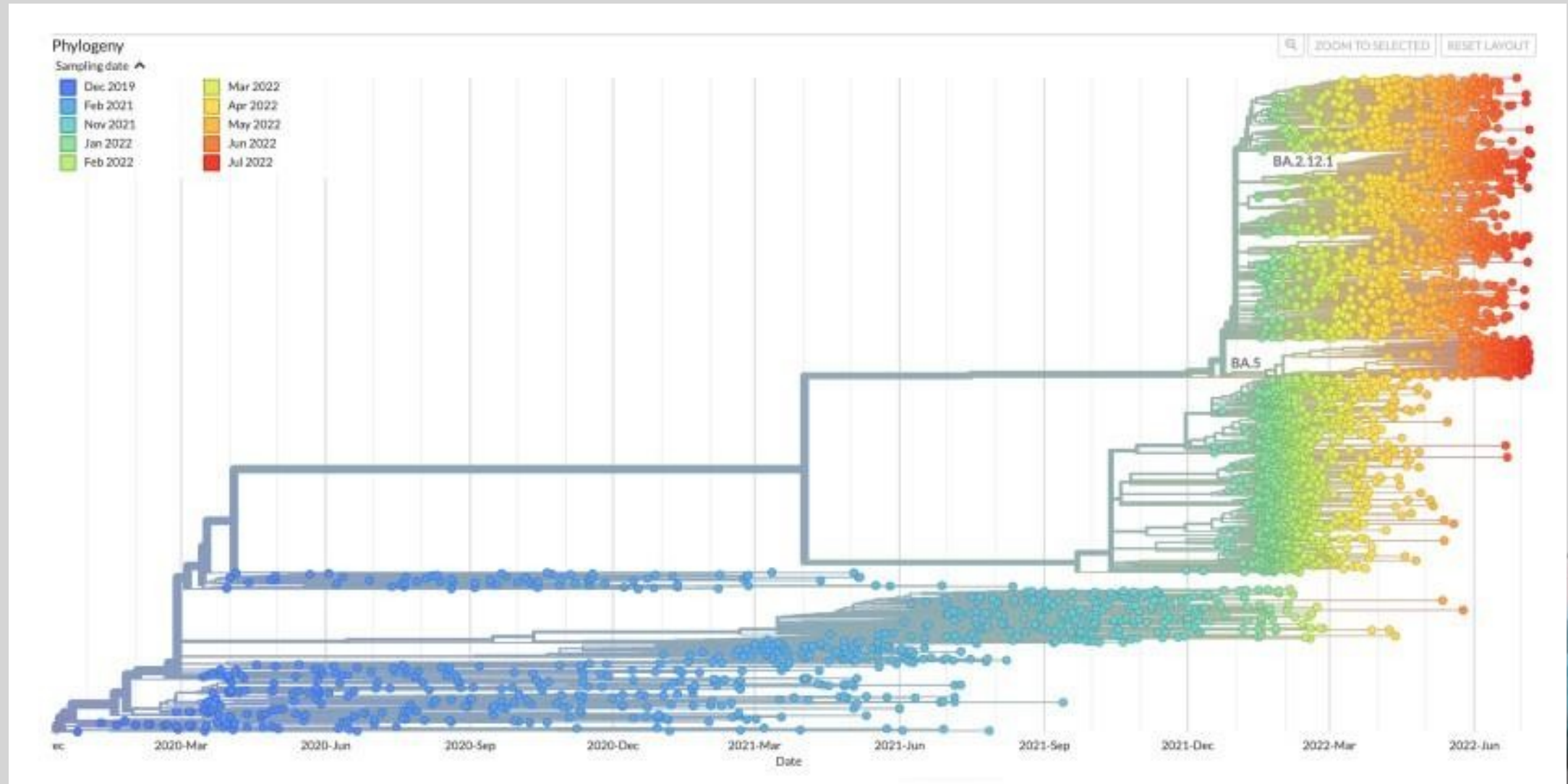
「ウイルスのゲノム」の出所は不明

- ごちゃごちゃの培養液の中のすべての物体のゲノムをバラバラにしてコンピュータで組み立て直しただけ
- できあがった「ウイルスのゲノム」なるものの出所は一切不明
- ウイルスだけを取り出したことがないので、検証しようもない
- GenBank（あらゆるゲノム配列の図書館）から、以前のゲノムに似た物を選ぶので、だいたい同じ配列になる。ちょっと違うのは「変異」

- 目的のウイルスだけを取り出していないので、このゲノム配列が正しいことなど証明できない
- 単に、ごちゃごちゃのゴミの山のすべてのゲノムをバラバラにして組み立て直しただけ



そうやってウイルスの変異系統樹を得る



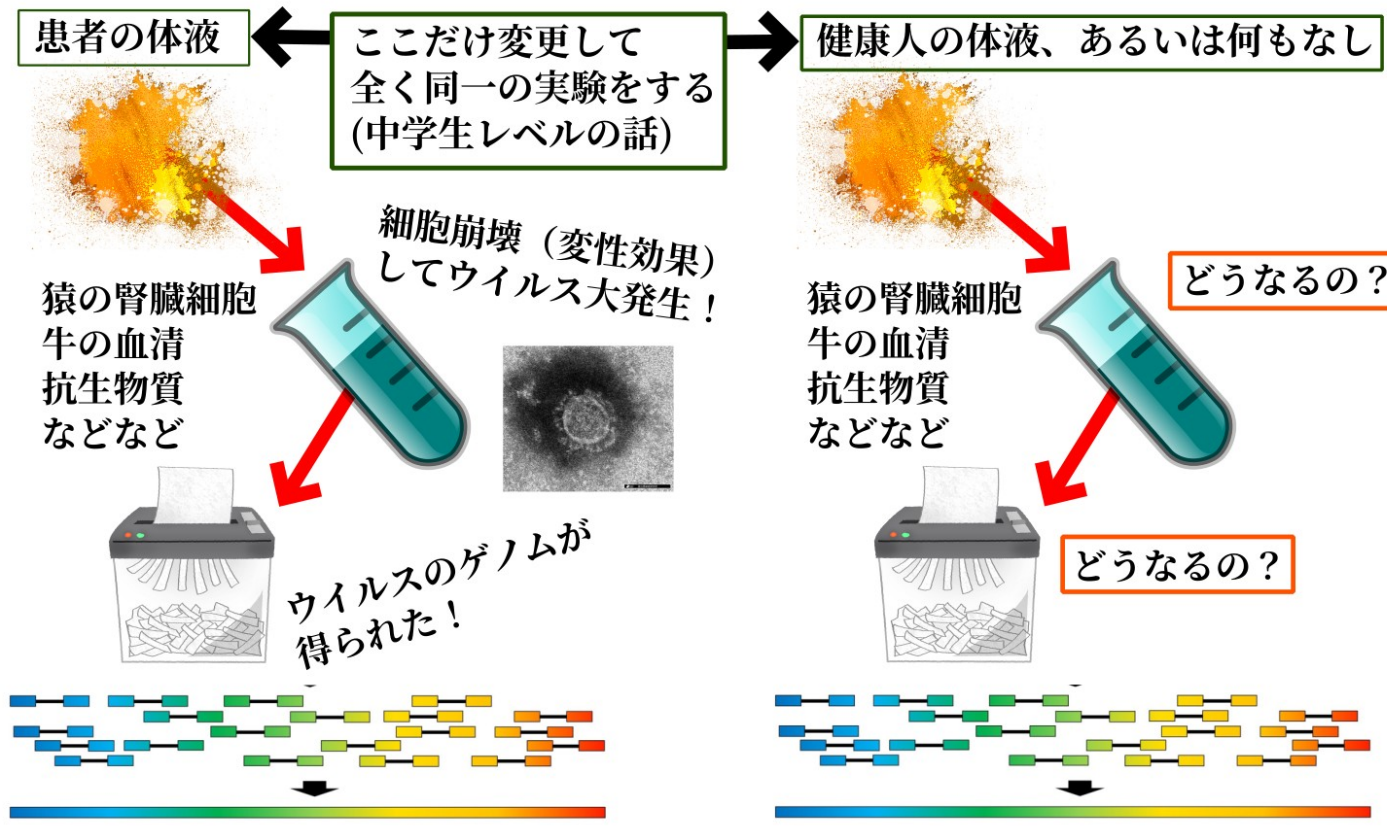
このようにして、ウイルス学は 人々を欺いている

- 辞書の意味の分離など、一度もしたことはない
- 混合物の中の適当なものを写真撮影して「ウイルスだ」と言ってるだけ
- 混合物（ヒト細胞、サル細胞、バクテリアなどなど）のすべてのゲノムをバラバラにして組み立てなおして「ウイルスのゲノム」と言ってるだけ



だからこそ、「ウイルス学」は 盲検の対照実験など絶対にできない

ニセ科学「ウイルス学」詐欺の真髄シリーズ ウソがばれるので
「ウイルス学」では、対照実験は禁止！



- やってみればおそらく、どちらも同じ結果になる。
- 写真撮影した物体はウイルスなどではなく、ゲノムもウイルスのものではないから。



ウイルス学者の反論をお待ちします